

高砂市公共施設等総合管理計画 概要版



発行
高砂市企画総務部経営企画室
〒676-8501
高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号
TEL 079-442-2101(代表)

平成29年1月
高砂市

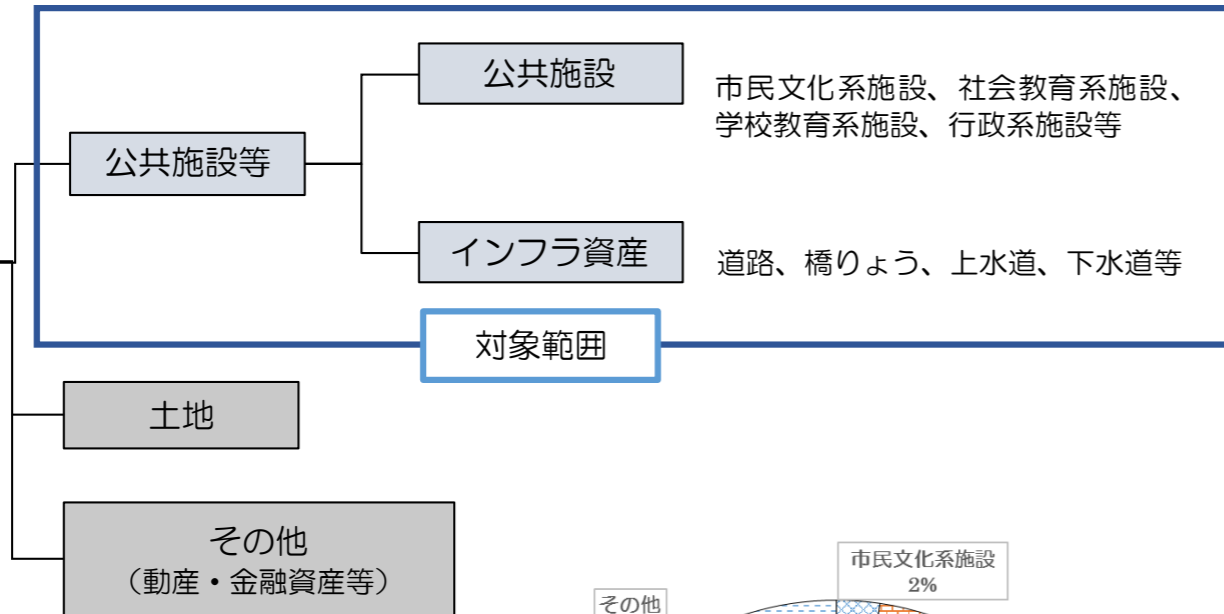
目的

本計画は、公共施設等を取り巻く現状や将来にわたる課題等を客観的に把握・整理するとともに、長期的な視点をもって公共施設等の最適な配置と有効活用及び財政負担の軽減と平準化を図り、持続可能な行政運営を行うために策定するものです。

計画期間

2017年度（平成29年度）から2036年度（平成48年度）までの20年間とします。

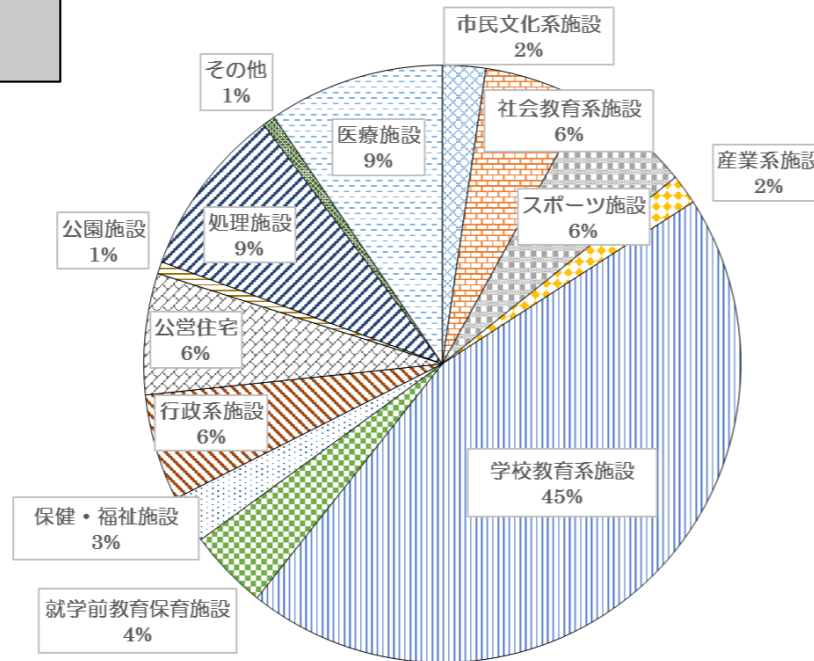
対象施設



公共施設等の現況

本市が保有する2015年度（平成27年度）末現在の公共施設の総延床面積は、約29.7万㎡です。市民一人当たり床面積は約3.23㎡で、全国平均の3.22㎡（平成24年3月総務省調べ）とほぼ同じ値となっています。

建物の内訳では、学校が45%を占め、これに医療施設の9%、処理施設（ごみ処理施設等）の9%などが続いています。

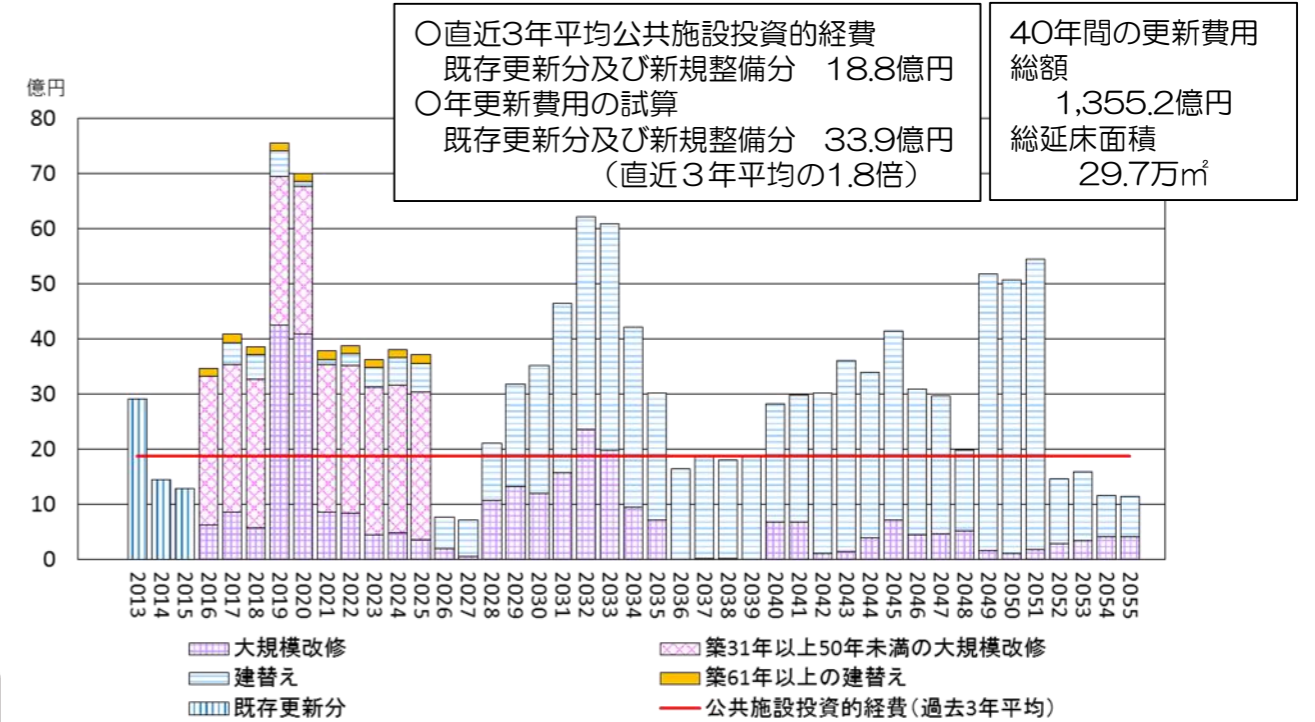


公共施設等の内訳：2015年度（平成27年度）末現在

公共施設	122施設355棟・総延床面積297,488㎡
道路	総延長369,008m・道路部及び有効幅員総面積2,193,246㎡
橋りょう	総整備面積26,442㎡
上水道	上水道施設4施設11棟・総延床面積4,291㎡ 送水管総延長20,693m・配水管総延長416,281m
下水道	下水道施設12施設24棟・総延床面積19,896㎡ 総延長389,181m

公共施設の更新費用推計

今後40年間、現在の施設を全て保有し続ける場合、40年間で総額1,355.2億円、年平均約33.9億円が必要となり、将来的な平均投資可能額を約18.8億円と仮定した場合、約15.1億円不足します。



目標

●公共施設

公共施設の総延床面積を今後20年間で15%縮減します。ただし、20年間の数値目標は、現時点における目標であるため、社会情勢や財政状況の変化により、10年目に見直しをするものとします。

●インフラ資産

インフラ資産の目標については、市民のライフラインであり、急激に縮減することはできません。そのため、長寿命化の検討を進め、維持更新に係る経費の縮減に努めていきます。

基本方針

本市の公共施設等を取り巻く現況や課題に関する認識を踏まえ、本計画の基本方針を次のとおり定めます。

